



大澤 正明
群馬県知事

ご来賓あいさつ

樋口 俊之
群馬県経営者協会
専務理事



(内容抜粋)

県労働界の中心的な役割を担い、勤労者のサポート・平和・人権・エコライフ運動など幅広く県民運動にご尽力いただいておりますことに深く敬意を表する次第であります。また、例年県政に対する政策提言をいただき、組合員は基より幅広い県民の意識を把握した調査からの提言として重く受け止め真摯に取り組みを進めたいと思います。また、連合群馬は本年12月で結成20周年を迎えたとお聞きし誠におめでとうございます。今後も労働者を代表する団体として群馬県政に対しご協力をお願いし、ご指導いただければと存じます。

有効求人倍率も過去最低を記録するなど、昨年9月以降厳しい状況が続いています。県も補正予算を組み雇用・景気対策に全力で取り組みを進めております。いかに雇用維持するか、人がどのように働くか雇用の質についても考えていきたい。制度融資や企業誘致などをすすめており群馬に住んでよかったと思える県にしたいと考えております。今後も連合の皆さんのご支援ご協力をお願いいたします。

連合群馬の基本目標である「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」を目指して活動され敬意を表します。昨年秋からの景気減速により日本経済は基より県内経済も大変厳しい状況で推移しており、このような時代だからこそ労使の力を結集しお互いが活動をより強固に前進させる必要があります。

連合群馬と共同し県内雇用情勢悪化や中小企業の厳しい経営実態を踏まえ、群馬県に対し緊急雇用対策に関する要請を行いました。また、例年1月には群馬県労使の良好な関係の象徴である労使共同セミナーを開催し、一年のスタートをきりました。

一部には景気は底を脱し回復基調にあるとの楽観視する見方も出ていますが、中小を取り巻く実態は依然厳しい状況です。連合と共同して課題を共有する中で関係をより強固なものとし、この厳しい難局を乗り越え、これからも労使で言うべき事はとことん論議し、良好な関係構築を目指しましょう。

～目で見ると大会風景～



↑議長団
左 南雲檜木氏 (電機連合)
右 伊能雄治氏 (情報労連)

←執行部



オブザーバー →



熱心に聞き入る大会参加者のみなさん ↑